

広域リサイクルセンター管理運営経費 《環境課》

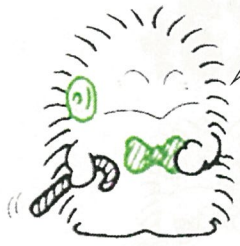
※セルの高さは自由に変更してください。（幅は変更しないでください。）

※別紙での提出が好ましい場合や、参考となる資料がある場合には、ぜひ添付してください。

なお、その添付資料については、企画行革担当へ15部提出願います。

委員氏名	確認したい内容(希望する資料)	回 答
石田 委員長	ごみ処理に関する全体像をわかりやすく説明してください。	本施設で扱う資源物は8品目です。寒川町及び茅ヶ崎市から収集されたびん・かん・ペットボトル・プラスチック製容器包装・衣類布類・金属類・廃食用油及び直接搬入された古紙類です。この内、びん・かん・ペットボトル・プラスチック製容器包装については、選別、圧縮梱包等を行い、リサイクル業者に引き渡します。衣類布類・金属類・廃食用油・古紙類は、選別、貯留しリサイクル業者に引き渡します。(別紙リーフレット参照)
	国・県から補助金を得ている場合は、その金額と補助率。	補助金等は受けておりませんが、茅ヶ崎市との共同施設なので、処理経費については市町の資源物の搬入割合で、また町職員人件費については市町の人口割合により茅ヶ崎市から負担してもらっています。
宮内 副委員長	管理運營業務委託について、新明和工業(株)となっているが、競争入札で執行されたのか伺いたい。	新明和工業(株)とは24年度及び25年度は随意契約です。その理由は第一に整備業者であるので施設を熟知していて、安全で安定的な稼働ができることと第二に26年度より効果的、効率的な施設運営を目指して長期包括運営責任業務委託の導入を検討しているためです。
新木委員	管理運營業務委託料の内容をくわしく教えてください。	管理運營業務委託の内容としては、収集された資源物の計量、受入、選別、圧縮梱包等の処理に必要な人件費と資源物処理のためのプラント機器類及び施設の維持管理費、また梱包等に必要な消耗品等の購入などがあります。
	長期包括運営責任業務委託とはどのようなものでしょうか。	PFI事業に代表されるようなPPP事業(官民連携事業)の一つで、民間事業者と施設の運営・維持管理・大規模改修を含めて包括的な長期の業務委託を締結することです。そのメリットとしては、民間の技術力と経営ノウハウを活用したコストの削減や大規模改修を含めることでの町の財政負担の平準化などが上げられます。
	日本容器包装リサイクル協会への負担金とはどのような主旨のものでしょうか。	本施設では容器リサイクル法に規定されているびん・ペットボトル・プラスチック製容器包装について、公益財団法人日本容器リサイクル協会に委託し、処理を行っていますので、その費用の一部を負担するものです。

<p>生田委員</p>	<p>プラの異物混入は具体的にビニール類ですか、可燃ごみに分別される汚れのひどい化粧品容器またはマヨネーズ等食料品容器ですか、納豆容器等水ですすがないものの混入ですか。種類と量を報告ください。</p>	<p>プラスチック製容器包装の異物としては、さまざまなものが入ってきます。 ご質問のとおりプラスチック製容器包装ではありますが、汚れのひどいものや食べ残し、中身のそのまま入っているものやプラスチック製のおもちゃ、まな板、電池類等の不燃ごみに当たるもの、使用済みの紙おむつ、デジタルカメラ、包丁、注射器、衣類なども入ってきます。異物混入率は約18%です。</p>
	<p>指定業者の方が異物を再分類した結果、それを水洗いするとか、化粧品や食料品の中身を処分する大変な努力をしているとのこと、再分類に関する改善提案や町民に対する要望を知りたい。</p>	<p>現状では異物として分類したもののうち、びん、かん、ペットボトルなどはそれぞれ分けておりますが、その他はほとんどが焼却処分されています。 町民の方々にぜひお願いしたいのは、プラスチック製容器包装をきちんと分別し、無理のない範囲ですすぐなどしてから資源物として出してください。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>プラスチック製容器包装の異物混入率を下げることが課題だが、異物混入率は毎年低下しているか。</p>	<p>茅ヶ崎市は本施設の稼働に合わせてプラスチック製容器包装を分別して回収を始めたので比較はできませんが、施設見学や広報などいろいろな手段を使って混入率を下げるようにしたいと考えています。(別紙チラシ参照)</p>



家族みんなで見てもね!

プラスチック製容器包装(プラ)編

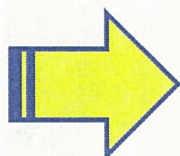
こういう出し方 ダメなの知ってる?

二重袋はやめよう!!

ゴミ野ゲンゾウ




指定収集袋に口をしぼったレジ袋が二重に入っています。



中から、壊れたハンガー(可燃ごみ)が出てきました。

リサイクルセンターでは、みなさんの家から出された、「プラ」を破袋機にかけます。写真のように二重袋ですと、分別ライン上で、個別の袋は破けず中身の確認ができません。その結果、重量のあるもの(シャンプーなどのボトル等)は、キレイに洗ってあっても、紙オムツ等異物の混入率が高いため、確認できずに可燃ごみとして焼却されてしまう事も・・・

プラは直接、町指定収集袋に入れましょう。家庭でレジ袋等利用して保管する場合も、指定収集袋に入れる時は、レジ袋から出して中身が見えるように捨てましょう。

基本的にプラマーク  がついています

商品を入れている

商品を保んでいる

プラスチック製のおもちゃ・タッパー等の品物を捨てる時は、可燃ごみとなります。

プラスチック製 **容器** **包装** × プラスチック製品

*裏面に、実際に「プラ」として出された「困った出し方」を載せています。

分ければ資源！混ぜればごみ



こまった出し方



中味を使い切ってから、軽くゆすいで、汚れの落ちないもの（汚れのひどいものは）、可燃ごみに。汚れたプラは資源になりません。

段ボールなど梱包に使われるテープは、プラではありません。破袋機に絡まってしまう事も多く、その度にラインを止め外さなくてはなりません。



医療系のごみは、町では収集できません。病院等にご相談ください。



プラとして出された中に資源にならない異物が多数含まれます。

かん・ペットボトルなどの資源物も多く混入していますが、汚物が残った紙おむつまで・・・ごみになるものを、買わない・減らす・フリーマーケットなどで再利用・きちんと分別！！

分別の方法が変わったもの知ってますか？

- 1、ジャムなどのビンのふた・王冠など
不燃ごみ→資源（かんと一緒に出してください）
- 2、靴・鞆・ベルト（履けるもの・使えるもの）
不燃ごみ→可燃ごみ→資源（古紙・布類で収集）
*汚れや、片方の靴や壊れたかばんは、可燃ごみ。
*キャスター付きのかばんは、不燃ごみ。
- 3、革製ジャンパー・毛糸の衣類・毛皮・下着・スキーウェア・ストッキング・ぬいぐるみ・帽子・綿入り衣類・ダウンジャケット（主に海外で再利用されます）
可燃粗大ごみ→資源
*再利用ができない、汚れたもの・破れたものは可燃粗大ごみ



寒川町には、焼却灰を埋める最終処分場がありません。現在、千葉県銚子市の民間処分場に埋め立てしていますが、福島第一原子力発電所の事故以来、県外からの焼却灰・不燃ごみの受け入れには地元市町村からの受入抑制指導があり、ゴミの削減が益々重要となります。

ごみを安全に処理し、余計な費用をかけないためにも、**ごみの出し方のルール**を守りましょう。

寒川町



マスコットキャラクター
チサムジョーンズ

SAMUKAWA



寒川広域
リサイクル
センター



資源循環型の

まちづくり



CHIGASAKI



ごあいさつ



寒川町長 木村 俊雄



茅ヶ崎市長 服部 信明

我が国では、現在、環境への負荷ができる限り低減された「循環型社会」への転換が求められています。このような状況の中、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町は、湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画を策定いたしました。これを受け、寒川町と茅ヶ崎市との共同施設として寒川広域リサイクルセンターを整備したものです。

本施設は、中間処理施設として資源物の再資源化を適正かつ効率的に行うとともに、廃棄物の排出抑制の意識を高めるなど、啓発機能も推進していく役割を担っています。そのため、楽しみながら環境学習ができる情報展示スペース等を確保しています。

最後に本施設の整備に際しましては、地域の皆様をはじめ多くの方々のご理解、ご協力を頂きました。心より感謝を申し上げます。ごあいさつといたします。

平成24年3月

このたび、寒川町と茅ヶ崎市の事務委託方式による整備施設として、寒川広域リサイクルセンターが完成の運びとなりましたことは、ひとえに地元住民の皆様をはじめ、関係各位のご理解とご協力によるものと心から感謝申し上げます。

市民、町民の日常生活に密着したごみ処理に関し、資源物としての分別処理については寒川町が、焼却処理によるエネルギー回収は茅ヶ崎市が行うという資源循環のための役割分担が明確化され、行政の効率性という観点だけにとどまらず、市・町の結びつきということにおいても非常に意義深いものがあると考えております。

今後は、共に整備した施設の管理運営はもとより両市町が更に協調関係を深め、資源循環型社会の形成に向け手を携え努めてまいりますので、皆様のなお一層のご理解ご協力をお願いします。

平成24年3月

ひとりひとりが自然と文化を愛する水とみどりのまち

緑

Green



中央公園

豊かな自然の象徴ともいえる豊かな緑をいつまでも守り続けることも私たちの大切な使命。

生き物にとって欠くことのできない水。
大切な水を守る環境づくりを目指します。

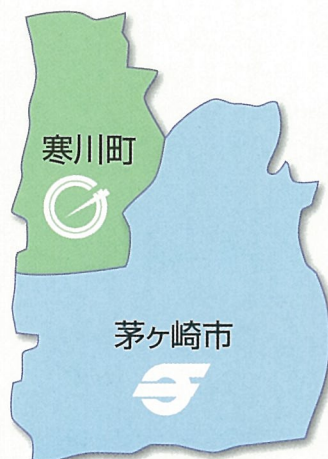
水

Water



相模川

構成市町の地勢



●寒川町

位置：東経139度23分
北緯35度22分

面積：13.42km²(東西2.9km、南北5.5km)

東は藤沢市及び小出川を隔てて茅ヶ崎市内に、西は相模川を隔てて平塚市、厚木市に、南は茅ヶ崎市内に、北は海老名市にそれぞれ接しています。

●茅ヶ崎市

位置：東経139度24分、北緯35度19分

面積：35.76km²(東西6.94km、南北7.6km)

東は藤沢市、西は相模川をはさんで平塚市、南は海岸線約6kmに及ぶ相模湾、そして北は寒川町と接しています。

施設の特長

効率的な処理システム

循環型社会の実現に向けて、ごみの減量化・再資源化が図れるようなシステムを整備しています。

資源物を確実・安全・安定的に再資源化

分別搬入された資源物を確実かつ安定的に再資源化します。

また、事故防止のための安全対策を講じ、見学者を含む来訪者や施設内の職員及び搬入車等の安全を確保しています。

地球環境にやさしい設備の導入

施設屋上には太陽光パネルを設置し、自然エネルギーの有効利用を図っています。

また、施設に降った雨水も雨水貯留タンクに貯めて植栽の散水等に利用しています。

リサイクル活動の拠点を提供

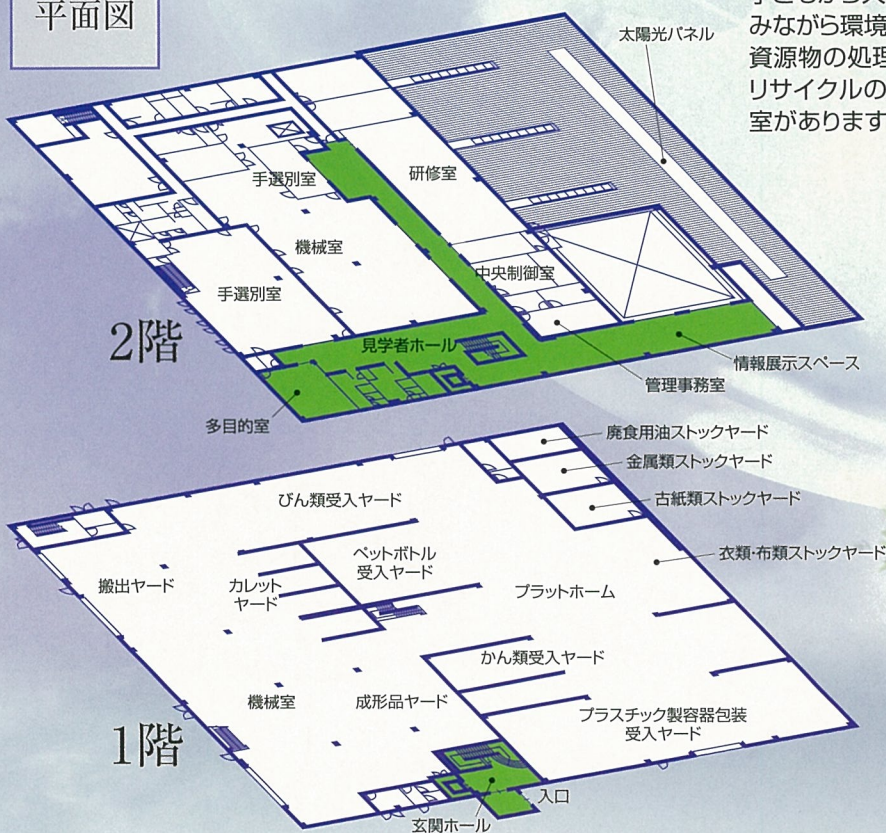
住民のリサイクル活動のための情報交換の場を提供し、リサイクルの輪を広げていくとともに、環境教育やリサイクルに関する事業を展開し、住民の関心や知識を深め、積極的な取組みが行えるようにしています。

周辺環境に配慮した施設

地域の自然環境や周辺環境に配慮し、開かれた親しみやすい施設としています。

また、施設内で発生する騒音・振動等については、十分な環境保全対策を講じ、搬出入車両に対しても安全性や環境性に配慮しています。

各階平面図



啓発施設

子どもから大人まで幅広い方々が気軽に立ち寄り楽しみながら環境学習することができる場所があります。資源物の処理のしくみを実際に見学できるとともに、リサイクルの知恵を学ぶことができる研修室、多目的室があります。



見学者ホール



情報展示スペース



多目的室

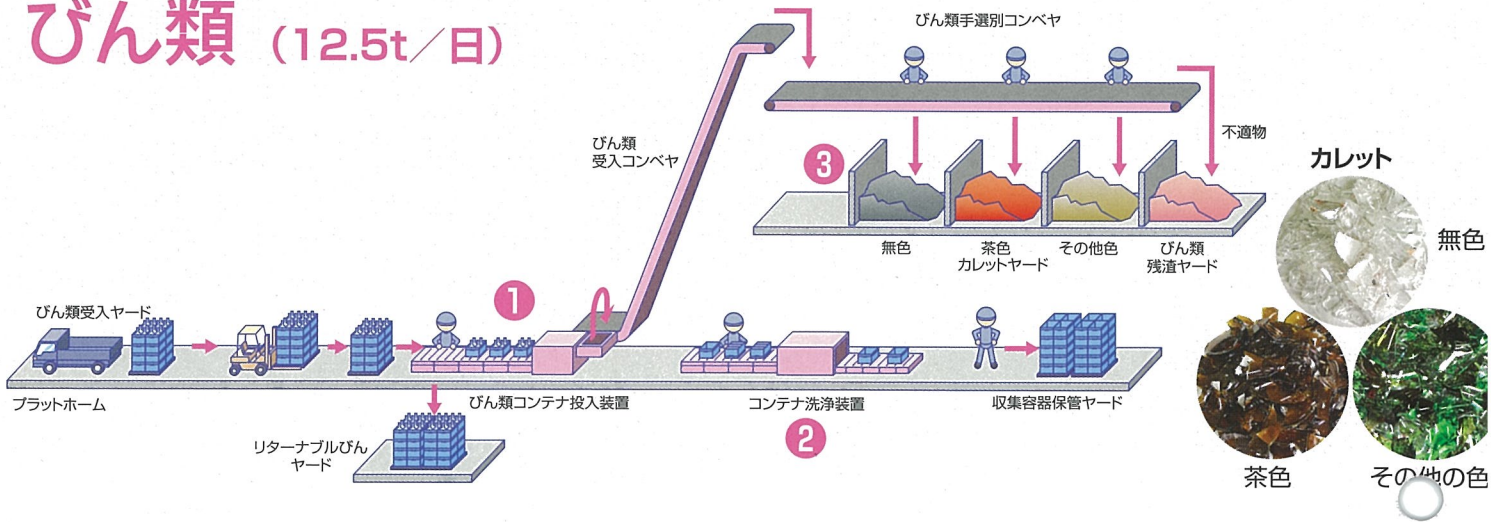


見学者窓

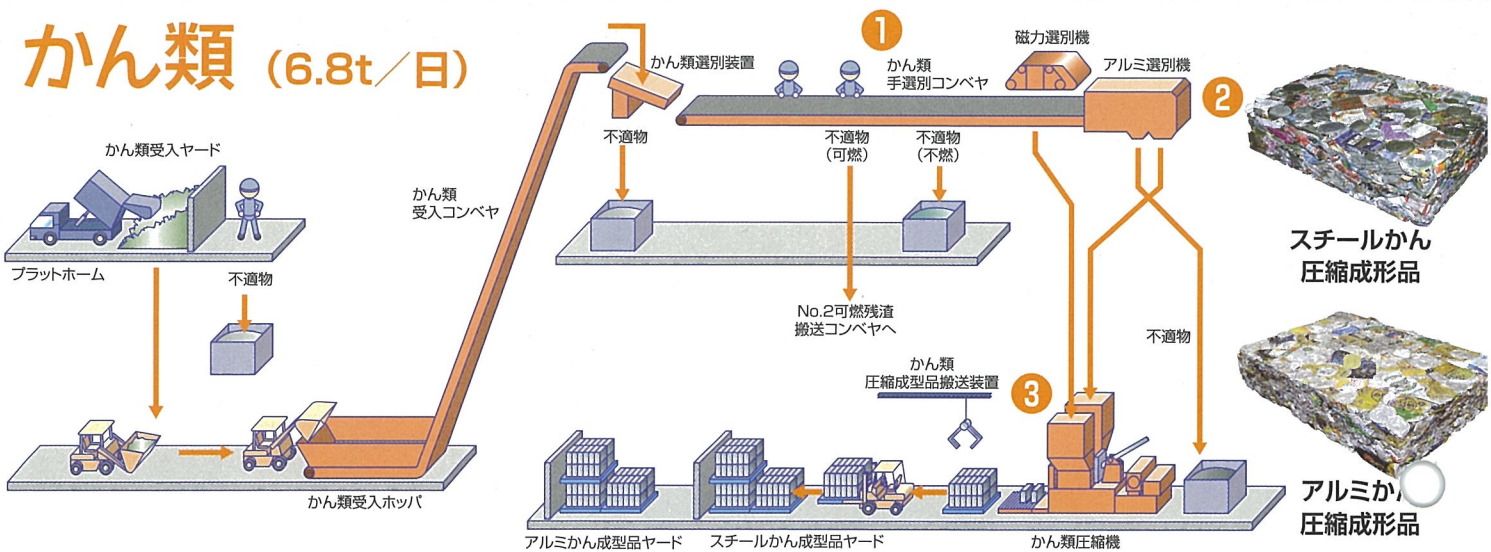


分別収集された資源物の搬入から搬出までの処理の流れ

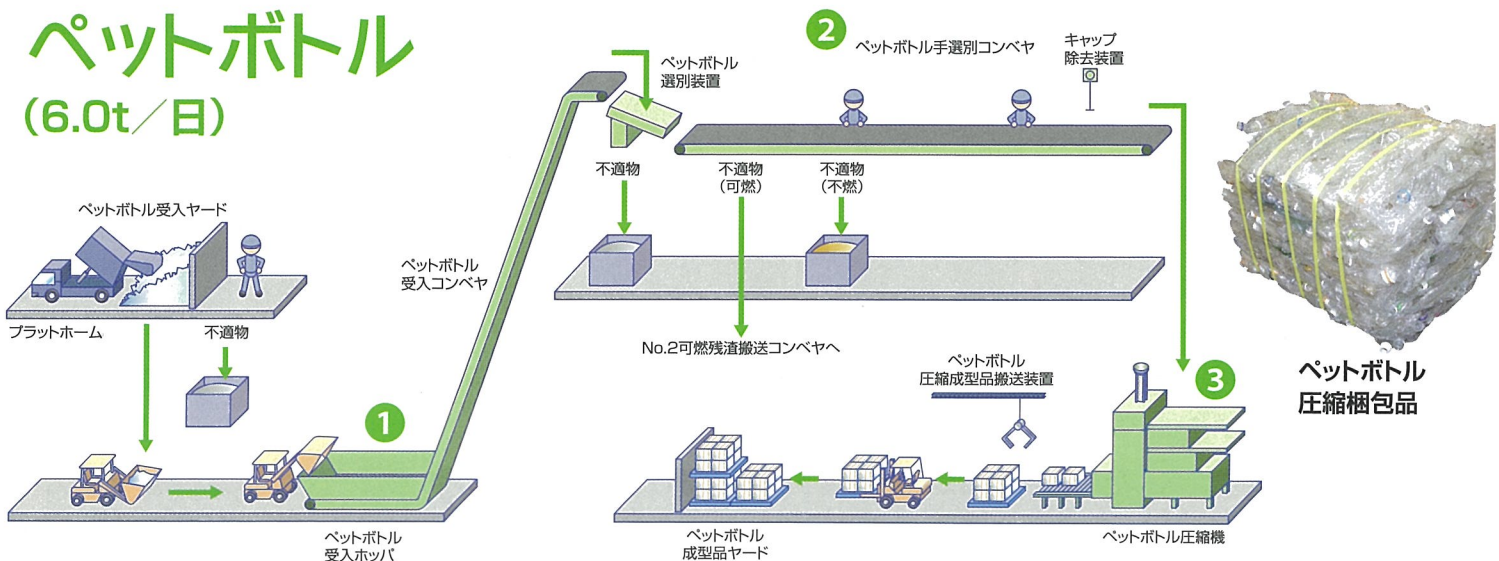
びん類 (12.5t/日)

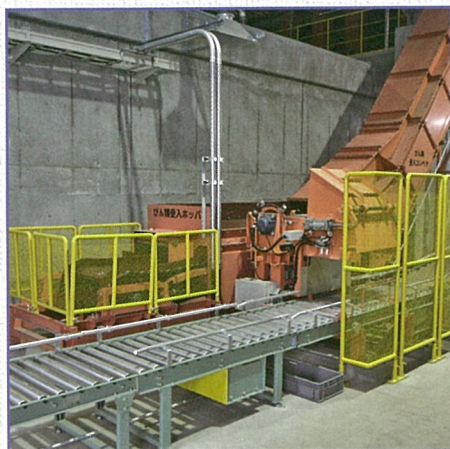


かん類 (6.8t/日)



ペットボトル (6.0t/日)





①びん類コンテナ投入装置

集められたびん類をコンテナから自動で取出し搬送します。



②コンテナ洗浄装置

空になったびん類のコンテナを洗浄します。



③カレットヤード

無色・茶色・その他の色別に選別されたカレットを貯留します。



①かん類手選別コンベヤ

かん類から、人の手によって処理に不適なものを取り除きます。



②磁力選別機・アルミ選別機

かん類を磁石の力で、スチールかんとアルミかんに選別します。



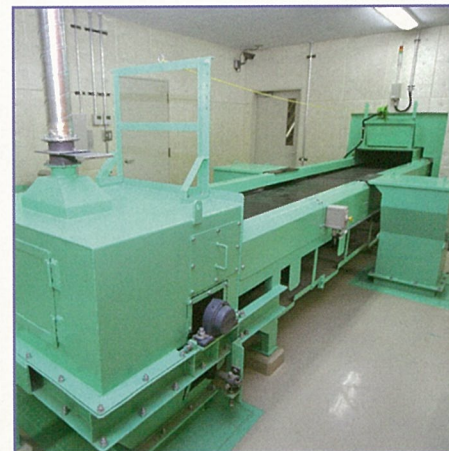
③かん類圧縮機

選別されたスチールかん・アルミかんを圧縮成形します。



①受入ホッパ

運び込まれたペットボトルをショベルローダで受入ホッパに投入します。



②ペットボトル手選別コンベヤ

ペットボトルから、人の手によって処理に不適なものを取り除きます。

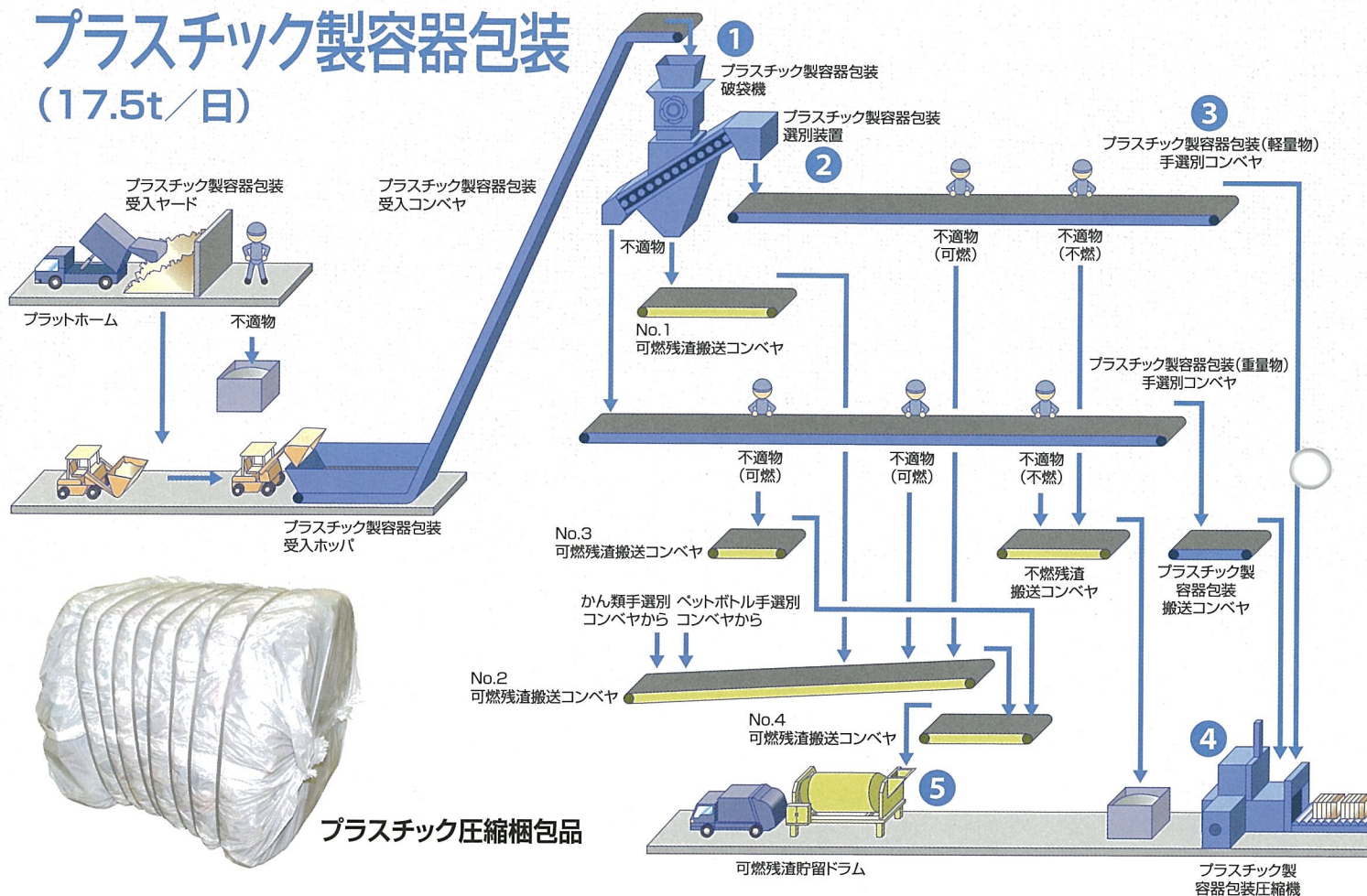


③ペットボトル圧縮機

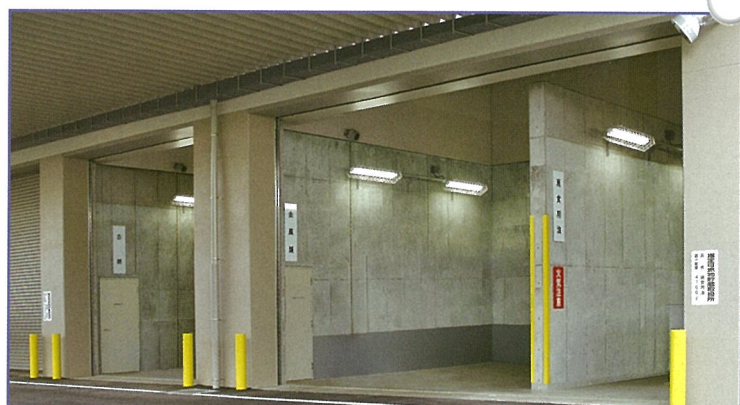
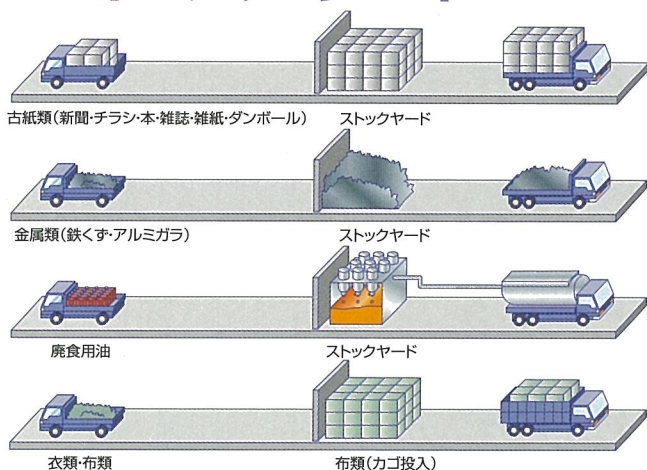
選別されたペットボトルを圧縮梱包します。

分別収集された資源物の搬入から搬出までの処理の流れ

プラスチック製容器包装 (17.5t/日)

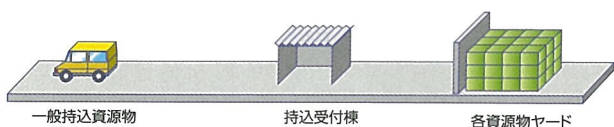


ストックヤード



収集された古紙類、衣類・布類、廃食用油などを一旦保管します。

一般持込資源物



施設に直接持ち込まれた一般資源物の受け付け業務をします。

Glass
Bottle

Can

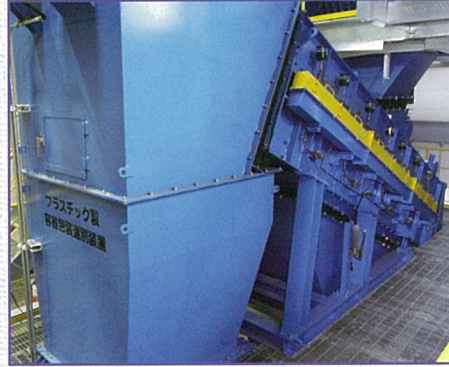
PET
Bottle

Plastic



①破袋機

プラスチック製容器包装が入った収集袋を破ります。



②選別装置

収集されたプラスチック製容器包装を軽量物と重量物に選別します。



③プラスチック製容器包装手選別コンベヤ

プラスチック製容器包装から、人の手によって処理に不適なものを取り除きます。



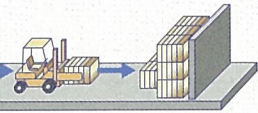
④プラスチック製容器包装圧縮機

選別されたプラスチック製容器包装を圧縮梱包します。



⑤可燃残渣貯留ドラム

手選別コンベヤで選別された可燃残渣を貯留します。



プラスチック製容器包装
成型品ヤード

中央制御室



施設内の各機器の稼働状態を集中監視・コントロールします。

プラットホーム



施設に運び込まれた各種資源物を受け入れます

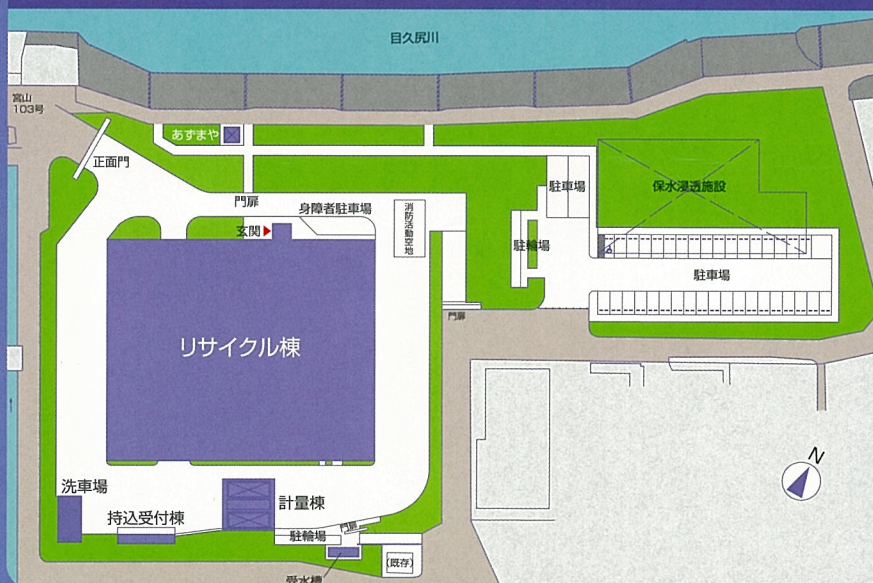
案内図



付近図



敷地配置図



施設概要

施設名称：寒川広域リサイクルセンター
 所在地：神奈川県高座郡寒川町宮山2524
 敷地面積：12,063.90 m²
 建築面積：約2,991 m²(リサイクル棟)
 延床面積：約4,199 m²(リサイクル棟)
 構造：鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
 竣工：平成24年3月
 工事監理：株式会社日産技術コンサルタント
 設計・施工：新明和工業株式会社
 施設規模：55.5t/日(7.5時間稼動)
 処理対象物：びん、かん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、廃食用油、衣類・布類、古紙類、金属類

寒川広域リサイクルセンター

〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山2524
 TEL：(0467) 74-5547 FAX：(0467) 74-5568
 E-mail：recycle@town.samukawa.kanagawa.jp